公式SNS

西脇市Facebookでも情報発信中！
紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。

まちの話題



心癒やす院内コンサート

西脇病院で院内コンサートが開かれ、市吹奏楽団と市職員ベル演奏グループが出演しました。コロナ禍による中断を経て昨年再開したこの催しには、患者や市民ら約150人が来場。普段は診療に訪れる人が行き交う院内に心地の良い音色が響き、来場者らは演奏を楽しみました。合唱コーナーでは歌声が院内いっぱいに広がり、演奏者と観客が一緒になって音楽を楽しむ様子が見られ、演奏後には大きな拍手が送られました。〔11月３日〕



伝統の手仕事に触れる特別授業

伝統的工芸品への関心を高めてもらおうと、播州釣針協同組合が、楠丘小学校の４年生に特別授業を行いました。児童たちは伝統工芸士の横山禧一さんから播州毛鉤の歴史を学び、製作の実演見学では、巧みな手仕事に「すごい」と歓声を上げました。その後は羽毛を組み合わせたブローチ作りに挑戦し、オリジナル作品を完成させました。ものづくりを楽しみながら、伝統工芸に触れるひとときになりました。〔11月２日／楠丘小学校〕







産業と農業の魅力を楽しむ秋の祭典

「にしわき産業フェスタ2026」と「西脇市農業祭」が11月15日に共同開催されました。当日は朝から雨でしたが、約7500人が来場。会場には市内企業の製品や地元農産物を紹介する約90のブースがずらりと並びました。企業自慢の逸品のＰＲのほか、黒田庄和牛の焼き肉、播州織のミニマルシェも人気を集めました。

ステージでは播州織ファッションショーやキッズダンスが披露され、会場を盛り上げました。

農業祭では、市内農家が丹精込めて育てた農産物の品評会を開催。米俵担ぎには、子どもから大人までが挑戦し、重い俵を肩に担いで懸命に踏ん張る姿に、会場からは温かい声援が送られました。雨の中でも、食やものづくり、地域の魅力を楽しむ一日となりました。〔市役所・市民交流施設オリナス〕



全国大会への挑戦

兵庫県高校駅伝競走大会が11月１日に丹波篠山市で開催され、西脇工業高校陸上競技部が出場。男子は２位となり、全国大会出場を懸けて奈良県で開催された近畿大会に臨むも３位となり、惜しくも全国大会出場を逃しました。



茶道で学ぶおもてなし

芸能と紅葉を楽しむ照楓会が開催されました。放課後子ども茶道教室の児童たちがお茶席で来場者をおもてなし。緊張しながらも茶道の作法や礼儀を実践し、真心を込めてお茶を振る舞いました。〔11月15日／西林寺〕



楽しく学ぶ歯の健康

11月８日の「いい歯の日」にちなみ、西脇市多可郡歯科医師会がみらいえで歯と口の健康を考えるイベントを開催しました。参加者は歯科相談やかみ合わせチェックなどを体験し、毎日のケアを見直すきっかけにしていました。



みらフェス＆図書館まつり

さまざまな展示や体験が盛りだくさんのみらフェスは、雨天で屋外イベントが中止となりましたが、風船技師まっきーのバルーンアートショーや、そうまくんとあいおねえさんのステージに子どもたちは大喜び。図書館まつりでは、読書通帳記録表彰や工作教室を開催。来場者は思い思いに一日を楽しみました。〔10月25日／みらいえ〕



秋の収穫祭で新商品を初披露

農産物直売所「北はりま旬菜館」で、秋の収穫祭が開催されました。スタッフは西脇高校生活情報科の生徒が播州織の西脇チェックで製作したエプロンを着用し、来場者をお出迎え。新商品のいちごミルクの素（200㍉で紹介）の試飲も行われ、味わった子どもたちから「おいしい」と笑顔がこぼれました。〔11月７日〕